

いとう 純一

後援会ニュース

【発行責任者】後援会長 山田 三津男
【発行日】2017年7月10日 (水) 第22号
【発行所】いとう純一 後援会事務所
<住所> 横浜市南区榎町2丁目51番地
<Tel> 045-315-3115 <Fax> 045-315-3175
<E-mail> itou@bell.ocn.ne.jp

夏のたより
市長選・平和号

梅雨明け間近かに、お元気でしょうか。

日頃より私の活動に対し、ご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

議員3年目の今年は、温暖化対策・環境創造・資源循環委員会と大都市行財政制度特別委員会に所属して市会活動に取り組んでいます。

常任委員会では地球温暖化対策、環境影響評価、農業振興、公園・下水道の整備、ごみの減量化・資源化などの審査に当たっています。企業等と連携し省エネ効率が高いLED照明の普及促進や、事業所と連携し食品廃棄物を削減する取り組みなど、環境未来都市の実現にむけて委員会議論に参加しています。

しかし、横浜の「豊かな水・緑環境」「安全・安心な生活環境」を次世代へ継承していくためには、行政の施策だけでは限界があり、市民一人ひとりの地道な行動も重要です。私も市民の立場で、緑の創出や地産地消など積極的に温暖化対策を実践していきます。

特別委員会では、大都市制度の早期実現を図るとともに、実態に即した行財政制度の確立及び促進に関する調査・研究を行います。市は、新たな大都市制度の「特別自治市」を目指しています。二重行政や不十

分な税制措置など、大都市横浜が抱える課題を解消し、行政サービスの向上と経済の活性化を実現することが目的です。より暮らしやすく活力あふれる横浜にむけた議論促進に努めます。



市会登壇中…

さて、毎年恒例の「平和フェスティバル」を来る9月2日(土)に開催します。

第1部では、山口二郎法政大教授を招き、『私たちの暮らしをみつめよう 何故、今9条改憲なのか』をテーマに講演いただきます。第2部は、平和の音楽と舞踊ステージとして、家族で楽しめる催しです。

平和だからこそ「学ぶ・語らう・歌う・踊る」が続けられると確信しています。

ぜひご家族ご友人を誘い合せてご来場ください。皆さんと会場でお会いできることを楽しみにしています。私も主催者の一人で、準備にあたっています。

最後に、暑さはこれから本番です。くれぐれもご自愛ください。

【いとう 純一】

いとう議員 林市政継続にむけ 奮闘中！

すでに横浜市長選挙の日程が7月30日投票と確定している中で、いとう議員は自治労横浜市従業員労組・横浜市労連及び横浜地域連合の組織内議員として、それぞれの組合機関の方針決定をふまえて、林文子現市長の続投を支持しその続投にむけた支援活動に奮闘中です。

さる6月時期に議員自らも検討作業に参加する形で「横浜地方自治研究センター」が林市政2期にわたる政策検証を積み重ね、中田前市政が市民の期待に反して混乱を極めたことの改革を続行する必要性があると方向提言しました。

さる6月19日、関内ホールにおいて、横浜地域連合主催の「明日の横浜を考える夕べ」が開催され、多くの市民・組合員が参加して、「政策協定」締結



をふまえて、林市長に推薦状を交付しました。いとう議員も壇上から力強い支援を送りました。

なお今後カジノ誘致問題が浮上する場合に、いとう議員は「横浜には不要=反対！」の立場で臨みます。

【文責：事務局・鈴木】

平和フェスティバルinよこはま2017

いとう 純一後援会顧問の齋藤つよし元衆院議員を代表委員に、中区・南区の地方議員と地域労働組合・団体が実行委員を出し合って、この春から趣向をこらした企画を検討してきました。今年で3回目の開催となりますが、いま中央の段階では「安倍自民1強体制」が暴走を繰り返し、都知事選大敗の中でも“改憲”の日程強行を図ろうとしています。

こうした危険な動きを地域から食い止める流れを作っていこうと、講師・演題も工夫しました。会員の皆さんも、ぜひご家族や地域のお知り合いに声をかけていただき、会場を満杯に埋め尽くしてください。

(とき) **9月2日**(土) 13時開演

(ところ) **南公会堂** (市営地下鉄・阪東橋)

記念講演

「私たちの暮らしを見つめよう 何故、今9条改憲？」

・講師：山口二郎 (法政大学教授)

平和の音楽と舞踊のステージ

- ・佐藤 温 with 中村 文香 (サワウソ & ピアノ)
 - ・久良岐太鼓 (和太鼓) ・ハラ フラ オレバニ ミキ(ワダン)
 - ・いじゅ (琉球舞踊ユニット) ・廣東獅子團 (中華獅子舞)
- 入場料 ¥ 999 【後援：神奈川新聞、東京新聞支局ほか】
参加申し込み・お問い合わせは...

いとう 純一 事務所までどうぞ！ (045-315-3115)

講師プロフィール

メイン講師・山口二郎氏は、法政大学法学部の教授で、昨年11月就任の米トランプ新大統領に世界の政治家中のトップを切って面会を果たした安倍総理を、強烈に皮肉る「首脳会談偽議事録」と題する署名入りコラム記事を東京新聞に載せ、喝采を浴びた。

旧民主党応援団を自認してマスコミ紙上で論陣を張り、日本の右翼陣営から罵りを受けてもへこたれないタフ・ガイとして有名。東大卒後北大教授や欧米客員留学を経て、田中優子学長の指名を受けて法政大学教授に就任。今回の催しには、実行委員長・齋藤つよしと旧知の仲で快諾とのこと。

前2回のメイン講演...

2015年 第1回 (旧・南公会堂)

講師：島袋 純 (琉球大教授)

演題：『沖縄・島ぐるみ会議のめざすもの』

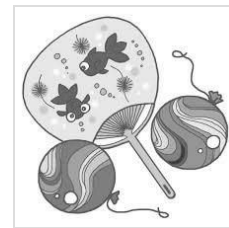
基地県・沖縄から本土への問題提起

2016年 第2回 (新・南公会堂)

講師：石橋 学 (神奈川新聞報道部 元スク)

演題：『安倍政治とメディアの萎縮』

講師は同紙シリーズ企画「時代の正体」取材班に所属し、現在まで社会的関心事項をめぐる報道を継続。16年に同シリーズ企画が日本ジャーナリスト(JCJ)賞を受賞。



いとう 純一 後援会賛助会員手続き 順調推移...

今年3月開催の後援会総会で提案・承認された賛助会員の17年度継続手続きが、4月以降順次返信されています。一人1口1,000円として、皆さんに1口以上の加入をお願いしています。

初年度の昨年は年間で約50名の会員に手続きいただきましたが、本年度は4月からの4か月間で既に昨年実績に達しており、現在も徐々に振込手続きが進められています。

大変ありがたいことに、総額でも昨年実績を超えています。後援会の年間活動をさらにしっかり支えていただくため、手続きがお済みでない会員の新規ご加入をお待ちしています。

ご連絡により振込用紙送ります。【後援会事務局】

トピックニュース

蒔田駅出入口の一部に手すり設置！

「地下鉄蒔田駅の出口1(旧南区総合庁舎側)には雨水の入り込みを防ぐための段差があり、最後の送りの部分に手摺がなく、高齢者が転倒する恐れがある」との声を昨年聞いて、交通局に相談しました。今年度に予算化が実現し、この7月に新たな手摺が設置されました。駅をご利用の際に確かめてみてください。

今後も、小さな声でもカタチにして、安心・安全の街づくりを目指します。
< いとう 純一 >